

## 会 議 録

会議の名称	第31回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	平成28年7月30日（土）午後3時30分～5時45分	
開催場所	市役所第二庁舎801会議室	
出席者	五園連	東海林一基 委員（くりのみ保育園） 細部真佐子 委員（わかたけ保育園） 石倉 秀一 委員（わかたけ保育園） 内田 明美 委員（小金井保育園） 長澤 麻紀 委員（小金井保育園） 石澤 和絵 委員（さくら保育園） 本間 義顕 委員（さくら保育園） 大井 優子 委員（けやき保育園） 角田 真理 委員（けやき保育園）
	市	河野 律子 委員（子ども家庭部長） 鈴木 遵矢 委員（子ども家庭部保育課長） 菅野 佳高 委員（子ども家庭部保育政策担当課長） 前島 美和 委員（くりのみ保育園園長） 杉山 久子 委員（わかたけ保育園園長） 小方 久美 委員（小金井保育園園長） 福野 敬子 委員（さくら保育園園長）
欠席者	五園連	萩原 佐和 委員（くりのみ保育園）
	市	海野 仁子 委員（けやき保育園園長）
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	●●人	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 第30回会議録の確認について (2) 待機児童の状況について (3) 公立保育園の運営に関するアンケート (4) 当面の課題について (5) 次回日程の確認 (6) その他	
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり	
会議結果	1 開会	

	<p>2 議事</p> <p>(1) 第30回会議録の確認について</p> <p>(2) 待機児童の状況について 資料128により平成28年4月保育所等待機児童数について報告を行った。</p> <p>(3) 公立保育園の運営に関するアンケート 資料129によりアンケート調査の内容について確認し、8月18日配布、8月29日締切りとした。</p> <p>(4) 当面の課題について 資料130、131、132、133により募集・配置状況等について質疑を行った。</p> <p>(5) 次回日程の確認 平成28年9月24日（土）15時30分から開催することとした。</p> <p>(6) その他</p>
提出資料	<p>(1) 平成28年4月保育所等待機児童数について（資料128）</p> <p>(2) 平成28年度公立保育園の運営に関するアンケート（資料129）</p> <p>(3) 臨時職員賃金単価一覧（平成28年4月1日現在）（資料130）</p> <p>(4) 近隣市及び類似団体における正規職員（保育士）採用試験実施状況【過去3年】（資料131）</p> <p>(5) 保育課職種一覧（資料132）</p> <p>(6) 職員の募集配置状況（資料133）</p>
その他	なし

開 会

○河野委員長 それでは、ただいまから小金井市公立保育園の運営協議会の会議を開会いたします。

○東海林委員長 今回も活発にご議論いただければと思います。よろしく申し上げます。

○河野委員長 よろしく申し上げます。

それでは、2、議事に従って進行いたします。

初めに、議事の(1)の第30回会議録の確認についてを議題にしたいと思います。

この会議録ですけれども、お配りさせていただいた内容でご確認いただいて、決定するというごことでご異議ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

○河野委員長 よろしいでしょうか。

○東海林委員長 1箇所だけ誤字が。

○河野委員長 済みません。

○東海林委員長 2ページ目の会議結果のイのところ。

○河野委員長 本当だ、傍聴。済みません、ありがとうございます。こちらのほうは修正させていただきます。

ほかにはないということですのでよろしいでしょうか。

それでは、ご異議ございませんので、先ほどの1カ所修正させていただきます。第30回の会議録については、ただいま決定したとおりとさせていただきます。

続きまして、(2)になります。待機児童の状況についてを議題いたします。

資料の説明を事務局からいたします。

○鈴木委員 それでは、資料128をごらんください。平成28年4月保育所等待機児童数についてです。

平成28年度の待機児童数は154人でした。下の待機児童数、2の表の平成28年の合計欄をごらんください。154人となっております。平成27年度の164人からは10人の減となっております。27年4月に策定した子ども・子育て支援事業計画上では、28年度の待機児童数を38人と想定していたところですが、今回大きな乖離が生じている状況です。原因としましては、就学前児童人口の増、それから申込者数の増、それから予定していた施設の定員が若干乖離が出ていたということがあると思います。現在の事業計画上では、28年度中に認定こども園を1園開設し、29年の新規開設を目指していたところですが、それ以外に、認可保育所、また小規模保育事業や定員の弾力化等により、さらに待機児童の解消を図っていきたいと考えています。事業計画につきましては、子ども・子育て会議で今後議論させて、将来推計人口等を含めて、見直すという形となっております。

説明については、以上です。

- 河野委員長 この件に関して、ご質問ございますか。
- 東海林委員長 くりのみの東海林ですけれども、これは、この数字がこのタイミングで確定したので、運協の場でも委員の皆さんにという趣旨でこれがこの議題に乗ってるというところで。
- 鈴木委員 前回の運協でちょっと報告できる状況でなかったもので、確定していなかったもので、今回、確定後の一番最初の運協ということで、今回ご報告させていただきました。なお、6月にホームページ等で広報はしているところです。
- 東海林委員長 同じものを。
- 鈴木委員 そうですね。内容としては同じです。
- 東海林委員長 それと、28年の154というところの数字の読み方については、ご説明いただいたほうがいいんじゃないかと思うんですけど。164から154というような形にはなっているんですけど、傾向としては、むしろこれ、ふえているというふうに読んだほうがいいんですか。
- 鈴木委員 27年に164という待機児童数でありました。このときに、実は認証保育所が1園、4月の開設が間に合わず、そこが40定員だったかな、40定員の認証保育所が間に合わず、5月からの開設というのが1カ所ありました。それを見ると、それを仮に4月、間に合ったという124ということで、今回の154と比較すると、見かけ上は減って、今回減っているんですけども、10人減っているんですけども、ふえているという見方もできるかなと思っています。
- 東海林委員長 ありがとうございます。
- 河野委員長 ほかにご質問ございませんか。よろしいでしょうか。  
ないようですので、こちらの議題を終了といたします。
- 東海林委員長 早いですか。大丈夫ですか、次に行っても。
- 細部委員 済みません、わかたけの細部です。  
想定が28年度は38人と予定していたのが大幅に増えたということだったんですけども、これ、待機児童数の想定って何年か先まで、そういったものを、数字を出していらっしゃるんですか。
- 鈴木委員 ちらっと説明の中で触れました子ども・子育て支援事業計画、27年4月から31年までの5カ年の計画があります。こういうやつですね。ごらんになったことがある方もいるかと思うんですけども、その中で、31年度まで将来人口推計、各年齢ごとの人口推計と、あと、保育のニーズ、それから確保する定員という形で設定をしています。28年については、先ほど申しましたように、1、2歳児、3号認定という言い方をするんですけども、1、2歳児の待機児童が38人で、0歳の待機児童はゼロ人、それから3歳以上、2号認定のお子さんの待機児童についてはいなくなって、72名余裕があるというような計画となっていました。これが、先ほどご説明したように、待機児童については、今お話ししたように、38人のところ、154人という形になってございます。29年、30年、31年についても同様に、27年、計画策定した際に推計をしているところです。将来人口推計がやはりちょっと乖離が出ている。それぞ

れのゼロから5歳の中の年齢の人口がふえている。数十人から100人くらいの割合でふえているような状況があります。それを踏まえて、今後子ども・子育て会議の中で計画を見直して、29年から計画を見直した計画でやっていくという形を今準備しているところです。

○細部委員           あと、済みません。

○河野委員長       どうぞ。

○細部委員       わかたけの細部ですけれど、もう一つは、人口の推定の見直しを図るといのが一つですけれども、多分その数字に基づいて、また恐らく今後の待機児童を解消するために認定こども園なり、認証保育所なり、何かいろいろふやしていこうみたいなことをされるのかなと思うんですけれど、実際、公立ではない、ほかの企業さんとかに入ってもらえるような施設をふやすに当たって、多分市が予算つけたから来てくださいとやっただけでは来るとは限らないのかなと思ってるんですけど、その辺はどういう活動をされるんですか。

○鈴木委員       まず、計画上位置づけられているのは、先ほどお話ししたように、29年4月開設予定の認定こども園が1施設、市内にできる予定になっています。それから、今回の待機児童の状況が明らかになったのが大体6月ぐらいなんですけども、その積算する過程で、計画どおりいかないだろうというのが当然見えているわけで、そういうことを踏まえて、一定準備を始めていた部分もございます。それで、先ほどお話しした認可保育所、民間の認可保育所を1施設開設予定で今準備を進めているところです。幾つかこういう状況を見て、申し出といいますか、開設を希望されている事業者の方から市のほうにはお話があるところです。それで、具体的に進められるかどうかというのを、その計画の内容等、あと場所とか、いろんなものを総合的に判断して、今検討しているという状況もございます。具体的にお話はまだできる状況じゃないんですけども、幾つか、それ以外にも検討している案件があるという状況です。

○河野委員長       ほかにございますか。

○石倉委員       わかたけの石倉ですけど、済みません、ちょっと勉強不足で申しわけないんですが、このいただいた表、ホームページにも載ってるんですけど、例えば0歳児を見ると、受け付け件数って241から291になって50ふえましたということは、0歳児なので、基本は1歳児とか2歳児って下から持ち上がって、何人プラマイがあっ てみたいな感じだと思うんですけど、0歳児ということは、基本スタートからなので、ここがそもそも27、28で50ふえてるということは、施設が増えた分だって理解で合ってますか。

○鈴木委員       受け付け件数なので……。

○石倉委員       これ、ごめんなさい、希望者の件数ですね。

○鈴木委員       そうです、はい。

○石倉委員       何かちょっとこれ、思ったのは、待機児童数が見かけ上はとか、減ってるけど、ふえてますとかなんですけど、結局、何か、私ぱつと見、知りたいなと思ったのは、どのくらい結局募集があつて、差し引きなんで、結局これ見ると、241から38引いた数というの

が定員なのかなとか思うんですけど、何かもう1個、結局どのくらい募集があつて、結果的にこうでみたいなのがあつたほうがわかりやすいかなと個人的にちょっと思いました。何か施設が増えたんだけど、その部分でまた希望者数がふえて、結果こうなっているのか、いや、施設がふえてないのかとか、何かその辺の市の動きみたいなのがもう少しあつてもいいんじゃないのかなっていう、これだと施設が増えたんだか、減ったんだか、何かキャパがどうなったのか、全然、小金井市としての保育に対する、待機児童に対する打ち手みたいなのがわかんなくて、何かそういったキャパの問題を書いた上で、受け付け数がこうふえて、結果的にキャパが増えたんだけど、受け付けがぼつと増えたから、待機児童数が変わらないですなのか、その辺何かもう少しわかりやすくしたほうが、より私どもを含めた市民に伝わるのかなと、感想としてちょっと思った次第でした。

○鈴木委員

ありがとうございます。

この0歳については、おっしゃるように、新規の申し込み、申込者数ですね、27年が241人で、50人ふえて291人の申し込みが0歳についてはあつたと。キャパの増というお話で、トータルで見ると、27年と28年の差を見ると、認可、認可外含めて、205ふえてるんですね、枠が、定員としては。それで、あと、年齢別は、済みません、今手元に細かな資料持ってないので、ぼつと出てこないんですけども、一定ふやしているところではあります。27年度中には、東小金井と武蔵小金井、それぞれの駅のそばに認可保育所を1施設ずつ新設しておりますし、あと、認証保育所から認可保育園の移行に伴う定員増をお願いしているところもありますので、200人以上の定員数増してるんですけども、追いついていないというところがございます。

わかりやすい情報発信については、今後ちょっと検討したいと思います。

○東海林委員長

くりのみの東海林ですけど、済みません、今の話って、多分その計画がどうだこうだという話については、また別の会議体でやられているところだとは思うんですけど、そこで出た資料とかでも、多分そっちのほうでは、今おっしゃったような資料って出てるのか、今後出すのかわかんないですけど、という流れにはなるんですよ。今別に個別の数字知りたいというわけではないんですけど。

○鈴木委員

今後子ども・子育て会議の中で、当然数字については検討していく形になりますので、詳細な状況については報告する形になります。

○東海林委員長

そうですね。だから、そこで出た資料の出せる範囲でということでも構わないんですけども、参考資料として、その計画自体をどうこうというのは、ちょっとこの会議の議題からは外れちゃうと思うんですけど、参考資料にはなると思うので、出せるものは随時、今後いただければありがたいかなと思います。

○東海林委員長

ほかには何かございますでしょうか。

じゃあ、そのあたりの資料はちょっと検討していただくという形で。

○河野委員長

それでは、次の次第のほうに入らせていただきます。

3の公立保育園の運営に関するアンケートについてを議題といたします。

こちらは東海林委員のほうでお願いできますか。

○東海林委員長 一応去年のやつをベースにして、今年度バージョンをつくってみてます。特に1、2については、若干体裁とかは変えてますけれども、基本的にそのままであります。ただ、ちょっと注意していただきたいというか、言っとかなきゃいけないのが、まず、1の(1-b)のところですけど、これ、たしか去年は幾つでもってしてたように思うんですけど、幾つでもというのが果たしてどうなんだろうというのが、ちょっと事務局のほうからも話があったりもして、確かにそれこそ全部つけたりとかということになってくると、ちょっと欲しい情報とずれてきちゃったりということもあるので、ここはほかのどこ、2番とあわせて5つ以内ということでもいいのかなどと思って、今そうしてるんですけど、いかがでしょうか。特段ご異論なければ、大丈夫ですかね。

それで、もう一つ、1-bのところ、ちょっととりあえずで今13だけやってるんですけど、周辺環境の後に、括弧して、点、点ってなってるんですけど、例えば周辺環境っていてもいろいろあったりして、職場へ近いという意味での環境だったり、自宅へ近いという意味だったり、あるいはすぐ近くにすごくいい公園があるとか、いろいろあるのかなというところがあって、この周辺環境については、事務局のほうでそういうの、複数の選択があり得るんじゃないかというところ、今入れてるんですけど、もしほかのところでも、ぱっと見どうかな、あんまりないかなという気もするんですけど、イメージとしては、この括弧のところ、例えば周囲の自然環境とか、仕事への通いやすさとか、車通りが少ないとか、何かその辺の具体例を入れて選んでもらってもいいのかなと。ただ、カウントとしては、去年とずれないように13ということではカウントして、ただ、その先、どういう趣旨で13に丸つけていただいているのかというのを読めるようにしたいほうがいいかなと、そういう趣旨なんですけど。それ自体がまず、いかがでしょうか。特段これもご異論なければ。

何か具体例でありますでしょうか。例えば周辺環境だと、こういうのとこういうので分けて知りたいとかという。何でも構わないんですけど、とりあえず。

○細部委員 わかたけの細部ですが、確かに周辺環境って、これを読んだ人によって全然捉え方が違うと思って、子どもたちが遊びやすいような、散歩に行きやすいようないいところが周りにいっぱいあるというのも一つだし、登園させるときに園の周辺の交通量だったり、自転車とめるところ等々の安全面みたいな、そういう環境もありだと思いますし、駅に近いとかいうのもあると思うので、ちょっとその辺は幾つかの分類が分かれるようになってもいいかなという気はします。

○東海林委員長 もし委員の皆さんで、明確にこういうのがいいというのがなければ、事務局のほうに預けていただいて、一旦、案文はもう一回ぐら

い見ていただく機会はあるとは思いますが、そんな進め方でもよろしいでしょうか。

ほかに何か、この括弧をつけて明確化させたほうがいいやつとあって、もし今あれば伺いたいと思います。

1-cのところでは具体的にというところもあるので、ここで読めないわけじゃないとは思いますが、選択肢化しとくと、よりはっきり出るかなというぐらいの意味合いですかね。

じゃあ、もしあれだったら、また最後とかもあるので、保護者の委員の方はご意見あれば言っていたくということ、園長先生とかはどうなんですかね。

○鈴木委員 実施時期はいつごろ想定されてますか。

○東海林委員長 実施時期、例年夏なんですけど、夏にこだわらなくても。少なくともお盆明けだろうなという気はするんですけど、8月下旬ぐらいのイメージでどうでしょうか。お盆だと、長期で保育園に来ないという方もいらっしゃるの、そこは外したほうがいいのかということなんですけど。大体1週間ぐらいの期限でって考えると、例えば土日を挟み、29回収とかにして、22ぐらいに配るという案もありますけど、遅過ぎる、早過ぎというのは……。

○鈴木委員 集計は大体いつぐらいを考えてますか。

○東海林委員長 集計ってどれぐらい時間かかるものなんですか。自由意見のを持ち帰って……。

○鈴木委員 自由意見の、そうですね。去年は7月28から8月7までの期間で実施して、8月25日に開催した運協で速報版という形で、回収率とか、回答の自由記述を除く、不満であるとか、満足してないとかというのの件数について、速報版で出しています。

○東海林委員長 運協のタイミングがまた一つあるとは思いますが、実際の作業量的な感じで、何週間とあって、どれくらいあれば自由意見まで。

○鈴木委員 自由意見までになると、そこそこお時間いただきたいというのが……。

○東海林委員長 どれくらい。

○鈴木委員 ちょうど、9月入っちゃうと、こっちの都合になっちゃうんですけど、議会とかあって、結構ハードな時期になるので、自由意見、速報だったら2週間ぐらいあれば出せるかと思います。自由記述となると一月ぐらいちょっと、2週間、2週間で一月ぐらいちょっと欲しいなというような。

○東海林委員長 9月24が運協ですよ。だから、8月の29ぐらい締め切りであれば、速報は少なくとも絶対間に合いますよね。

○鈴木委員 何とかいけますかね。だめだったらごめんなさいというところで。

○東海林委員長 速報は、でも、1カ月……。

○鈴木委員 8月末から議会が始まるんですけど、国や都の補助金の関係がそれ以降にいろいろ示されてくるので、かなり業務が混乱する時期になるので、なかなかそこ、確定的に申し上げるのは難しい時期かなと思います。

○東海林委員長 とはいえ、じゃあ、その前の週ってなると、15配布になるので、これは得策じゃないような気はするんですけど、15だとい

のかな、15で22回収。

- 細部委員 わかたけの細部ですけれども、これ、おとしが9月の1日から9月の10日にアンケートをやっていて、去年、私がここに出たときに、7月の28から8月7にした、ちょっと前倒しにした理由が、たしかこの結果をまとめて、ある程度いろいろ出てきた意見によっては、来年度の予算の関係になりますか、理由は何だったか、記憶が定かではないんですが、何かしらでやはりちょっと早目にある程度まとめたものを出す必要があったからではなかったかなと記憶してるんですけど。
- 鈴木委員 五園連の対市懇談会とか。
- 細部委員 そっちでしたっけ。
- 鈴木委員 そっちもあったかなという気がするんですね。先ほどちょっと対市懇談会の日程、10月29日、いかがでしょうというようなご提案をいただいて、ちょっと調整させてくださいというふうにしてあるんですけども、そこなのかなという気がします。
- 細部委員 そうすると、去年、7月28から8月7に前倒し、おとしに比べたら前倒しになったときに、やはり夏休みでいない人も多かったためか、全体の数字としてはすごくいいんですけども、回収率は一昨年より大分落ちてたなという気がするので、できるなら夏休みどんずばの時期は本当は外したほうが回答していただきやすいかなという気はするんですけど。
- 東海林委員長 でも、どっちにしても、1日は無理で、1日は無理だし……。
- 河野委員長 そう、だから、今からだとちょっとお盆よりは後ろしかないですよ。
- 東海林委員長 そうですね。
- 河野委員長 次回の……。
- 東海林委員長 だけど、それでいうと、15、22、29であれば、アンケートの作成自体は大丈夫だと思いますし、それに、その対市懇談会とかのことを考えても、9月忙しいんであればなおさら8月中のほうが多分いいと思いますね。だから、そう考えると、15、22、29の中でどこかというのがあるんですけど、15は多分ちょっとまだ夏休み感があるから、例えば22配布、29回収ぐらいが現実的なような気はします……。
- 石澤委員 さくらの石澤ですけど、これ、1週間で配布、回収だと、1週間丸々休みみたいな人は受け取ることもすらく、回収日がもう迫ってますから、やっぱりこの時期だとあり得なくはないかなってちょっと思ったりはして、書きたかったけど、後日出しても構いませんというふうにはなるのかなと思うんですけど、内容見て書きたいなという人がちょっと提出までの期間が少なくなっちゃうのは何か申しわけないなという気もする……。
- 東海林委員長 じゃあ、18とか、17とか、その辺に配りますか。そうすると、土日2回入って。
- 石倉委員 わかたけ、石倉ですけど、アンケート、多分去年と一昨年のを今拝見したときに、一昨年が9月にやって回収率が80パー近くで、去年が7月末から8月の頭やったら58.8パーで、物すごい落ち

てるじゃないですか、20パーぐらい落ちてるので、やっぱり時期がまず大事だと思います。多分回収を、おっしゃってるみたいに、2週間とかにしたら、8月の下旬から、お盆明けから始めて2週間であれば、おととしの9月の1週目にとって80パー近いというところもカバーできるし、2週間あれば、たまたまそこが休みでも、さすがに2週間連続休みはそんなにいないので、N数がふえると思います。というところで、2週間ぐらいがいいんじゃないかなとは思いますが、あとは、やっぱり500近い世帯にアンケートをとって、もっとか、500以上か、とって、80パーぐらいの回収を狙って、これをつくってもらってくるという結構大切な、あと、全5園に対してここまで大がかりでとること、当然1年に1回しかないなので、あとは、とったアンケートとその分析とその結果をどういうふうに生かすタイミングというのが、いつだったらデッドで間に合うかということも考えなきゃいけないと思うんですよね。じゃあ、そこはどっちをとるかなんですけれど、回収率をすごくとるがために、いや、せっかくもらったんだけど、なかなか予算とかに反映できません、タイミング、もう結構検討ぎりぎりですと、それは早いほうがいいし、いや、今例えば9月の1週目ぐらいにとっても、いや、そこはとった結果を十分検討して、どこまで実現可能性として反映できるかわからないんだけど、タイミング的にはここでもらって、ここで分析すれば、検討をいっぱいする余地はありますだとすれば、その辺のスケジュール感が大事かなと思っていて、仮に8月の22とかから始めて、2週間とって、アンケート回収して、その分析とか結果して、それを議会とかも入ってお忙しいかもしれませんが、集計いただいて、来年度の予算とか、その辺とかに反映できるようなスケジュール感であれば、僕は8月22から2週間とかでいいかなと思います。

○東海林委員長　　くりのみの東海林ですけど、今予算のお話出て、確かに来年度というタイミングは結構際どいタイミングだと思うんですね。そこを狙うというのも一つあるとは思いますが、必ずしも来年だけかということ、要はずっと保育自体は継続していくので、逆に例えば来年度予算に反映できなかったら、この意見が全部無駄になるかということ、別にそうではないと思いますね。この運協で話す基礎の資料としても大事だし、長い目で見ていったときに傾向をつかむという意味でも大事な資料にはなってくると思うので、逆に予算があるからということころはそんなに気にしなくてもいいのかなという気も僕はします。そこを外すと、もっと緩やかに決められるかなという気もするんで。

○細部委員　　わかたけの細部です。でも、先ほどの話でいくと、次の9月の24日の運協に速報が出るというところを多分目指するのが一番現実的かなという気がするんですけど、2週間ほどという話でした。であれば、例えばさっきちょっと出ていた8月の18日に配布して、2週間とって、9月1日までとか、2日までというふうにして、5日から3週間、そうすると、あるんですね、次の運協まで。それだったら、できそうな感じですか。

- 鈴木委員            まあ、何とか。
- 細部委員            それであれば、そのぐらいのスケジュールならどうかなと思うんですけれど。あえて18日からと言ったのは、皆さんどうかかわらないんですけど、1週間の頭の月曜日に配布して2週間ってやると、もしかしたら、その週の頭からずっと休んでという方がいるかなと思うので、土日のちょっと前ぐらいに配布をして、2週間ってやると、ちょうど週的には3週間にまたがりますよね。その辺が見れる可能性は高いかなと思うんですけれど。
- 東海林委員長        どうでしょう、18配布の2日回収というのが多分今一番長く回答期間をとった案だと思うんですけど。ちょっと長い気もしないでもないですけどね。回答期間ってやっぱり長いほうがいいのか。何か忘れちゃう気もして。
- 細部委員            なくしちゃうとかね。
- 鈴木委員            何か各園のほうで、去年とおととし比較して、去年のほう回収率がおととしより低かったじゃないですか。それって、休みの関係とか、そういう時期の問題とかありそうでしたか。長く取ったほうが回収しやすいというよりは、今例えば夏休み時期を外したほうが回収しやすいのか、それとも、また、去年とおととしで出してくださいねって働きかけにちょっと違いがあったとか、何かそこら辺の要因ってありますか。
- 杉山委員            わかたけ、杉山です。  
わかたけはそんなに変わらなかったかなというのはあるんですけど、やはり土日が入るというのは大きいかなというふうに思うんです。皆さんお忙しいので、土日で書かれると、そういうことの作業される方は多いので、土日が18からのというふうにすると2回入るので、1回より2回のほうがやはりいいのかなというふうには思います。
- 東海林委員長        くりのみの東海林ですけど、締め切りとしては、やっぱり29ぐらいがいいんじゃないかな。それで、残り、逆に2日ぐらいまで締め切り過ぎちゃった人のを、30、31とかに・・・部分で入ったりもすると思うので、それを回収するぐらいの気持ちでどうですかね。それで、土日2回入るという意味では変わらないので、どうですか。  
じゃあ、一旦18配布、29締め切りで、9月24日の次の運協までには速報は少なくとも出してもらえよう頑張りましょうというところでしょうか。  
それに当たって、まず、表紙のところをごらんいただきたいんですけど、3つ丸があるうちの2つ目なんですけど、アドレスを載せるところがあって、これは18までには入れていただきたいんですけど、それは大丈夫でしょうか。
- 鈴木委員            大丈夫です。はい。
- 東海林委員長        入れる内容は、確認なんですけど、前回のアンケートの結果、概要、両方という感じですか。
- 鈴木委員            はい。
- 東海林委員長        プラス運協の資料が会ごとに並んでるやつが……。あと、五園連における市への意見、要望とか、これもできれば載せていただきたい

いんですけど、これって公表はどうでしたっけ。ありましたっけ。

○鈴木委員 五園連の要望事項として、今までの運協の中で資料として出しているから。

○東海林委員長 資料も出してるから、そしたら、その資料、資料番号ぐらいはせめてつけないとちょっと探せないと思うので、運営協議会、今の・・・だけだと。要はここに少なくとも具体例として挙げてるものについては、たどり着けるような感じでちょっとアドレスを載せていただければと思うんですけど。

○鈴木委員 わかりました。

○東海林委員長 それから、一部の保護者の声で、オンライン化の要望が出てるんですけど、市のほうからはちょっと現状難しいかもしれないという話は聞いてるんですけど、そのあたり理由のところをご説明いただけるとありがたい。

○菅野委員 保育政策担当課長です。

オンライン化ということが市のホームページ上ということなんですけれども、現状の市のホームページの機能では、それができないということを主管の課から確認しておりますので、オンライン上では難しいということでございます。

○東海林委員長 くりのみ、東海林です。

ごめんなさい、僕がご紹介した説明の仕方がよくなかったかなと思うんですけど、市のホームページにどうこうという話ではたしかなかったですよね、五園連でとったやつについては。どこか別のアンケートのサービスを使ってという話だったように思うんですけど、ご記憶されてる方は、どなたか、ざっとご説明いただけるといいかなと思うんですけど。

○細部委員 経緯を。

○東海林委員長 いや、経緯じゃなくて、その機能を。

○細部委員 アンケートの機能。

○東海林委員長 機能というか、具体的なサービス名とかは出さないにしても、どういうふうな仕組みでやるやつなのか。

○細部委員 わかたけの細部ですけど、私が記憶してるので合ってるかどうか、ちょっと後で補足していただきたいんですが、もう今ウェブでいろんなサービスがあって、無料のもので、アンケートをつくって、それをもう集計してくれるようなものもいろいろあるんですね、実際。保育園さんによっては、中のアンケートをそういうものを使ってやってるところとかもあるので、そういったものを利用してはどうかという意見が実際に上がっていました。どうだろうというのを事前にこの委員だったり、五園連のメンバーなんかも意見を寄せてはいて、まず、市が市も主体となってやるアンケートをそういった無料のサービスを使って実施するということが可能かどうかというのは、一つ多分問題になるかなというふうに思っているんですけども、そういうものがもし使えるのであれば、問題がないのであれば、それを使えば、特に予算を立てる必要もなく、ある程度の項目別の数字、集計数字というのももう自動的に出ますので、かなりそういった手間は省けるかなというふうに思いますというのが1点です。

あと、もう1点、逆に、そういった意見が出たときに、ちょっとわかたけの2人なんかは通信系の会社にいるものですから、セキュリティのところにはすごく敏感になっていて、公的な場所がそういったアンケート、一部どこが対象になってるかというものが、名前を出さなくても少しわかってしまうようなものに使うということがちょっと問題があるんじゃないかなという心配はしていて、そのところが市としてどうかというところを確認できたらいいなど。もしくは市役所自体が、保育課さんだけではなくて、多分いろんな組織があるので、どこかと包括契約みたいなのをしている、どこかの業者さんにそういうサービスを受けているようなものがあれば、そこを使わせていただくみたいなことができれば、そこはきちんと多分お互いに契約を交わして、もちろん秘密を守るというような契約、そういったものも含めてやっていると思うので、セキュリティ上の問題というのは解消されると思うんですね。なので、そういったものがないかというのをちょっと確認いただいて、使わせてもらえないかというのもあると思うんですね。

やはりアンケートの対象世帯数がすごく多いので、手作業で集計するというのは物すごく大変だと思うので、そういったものを使えば、かなり集計したりする手間を省いて、早く速報値が出るという意味では、有効かなという意見が出ています。

○石倉委員

わかたけ、石倉です。

いいですか。ちょっと補足で、多分これもあったようなんですけど、加々として、やっぱりこういう時代になっているので、紙で配るより、オンラインでできれば、例えば通勤途中のスマホとかでもできたりするので、結果何が起きるかといったら、回答率が上がるよねという可能性がオンラインのほうがあるんじゃないかというところから出ている話であって、決してオンラインにしたいとかが、絶対にそこにしたいんだというわけじゃなくて、よりアンケートをせっかくやるんだから、もっともっとたくさんの意見をいただいて反映したいという思いから、オンラインのほうが手軽なのでいいんじゃないかという話と、先ほど細部さんが言ったみたいに、集計とかのコストですよね。あれっでもう自動でびって、要するに自由意見欄は結局拾い出しますけど、それでも結局もうCSVとかで書き出すとかもできるので、そうするとエクセルとかでわあっとできたりすると、はるかにコストも軽くなるから、悪い話はないんじゃないかと思っていて、ただ、繰り返しですけど、重複ですけど、セキュリティの問題は、今回無記名でやりますし、どこの誰が書かれたかわかりませんが、アンケートの目的とか、それは小金井市と共同、ここは、これでやる、運営協議会でやるので、当然小金井市としてもそのポリシーはあるでしょうし、プライバシーポリシーの問題とか、ここに例えばどこどこ保育士さん、何とかさんがすてきだとかって書かれてても、それも個人情報になったりするとか、そういうことを考えると、ある程度小金井市さんのほうで、小金井市のほうでアンケート、オンラインによるアンケートみたいなのをやっていて、そういうふうなどこかの業者と契約とかちゃんとしていて、

だったら、そこに乗っかるのはいいんじゃないかなというの思っていますというところです。

○菅野委員

保育政策担当課長です。

今のご意見伺って、セキュリティという今お話があって、実は私は3月まで情報システムの課長だったという立場です。まさしくセキュリティの問題は非常に重要かなという思いもあります。ただ、まず、根本から申し上げて、今例えば市のパブリックコメントですとか、そういうアンケートを行う際には、基本的には、例えばPDFファイルであったりですとか、ファイルを添付して、それをご記入いただいておりますか、郵送です、もしくはメールでお答えいただくという方法をとっているのが現状です。おっしゃっていることはわかります。オンラインでやるなら楽だというのは、当然私もそれは認識はしてはいるんですが、そもそも論で、今市の中でそういうアンケート方法をとったことがあるかと言われると、恐らくないと思うんですね。ですので、これを、じゃあ、今回のアンケートから反映させるということになりますと、当然のごとく、個人情報の問題とかありますから、審議会に諮る必要があるのかどうかとか、そういったことも含めて考えていきますと、ちょっと今回はかなり難しいかなという思いです。当然主管課である、今ホームページ主管しているのは情報システムですから、そちらとも調整する必要も当然あるでしょうし、そう鑑みますと、このタイミングでいただいたご意見というのは、ちょっと今回は反映しづらいというのは正直な気持ちです。

ただ、当然そういう集計方法があるということは、当然利便性がありますし、また、使い勝手がよければ活用するのも一つの手かなとは思いますが、今回については、これは今までどおりに対応していただくと私としてはありがたいですし、また、こういったご意見いただいているということで、情報システムのほうとお話しさせていただいて、そもそもそういう対応が可能なのか、恐らく情報公開の担当も必要になるかなと思うので、ちょっとそこは、済みません、今後の課題とさせていただきます。

○東海林委員長

ということで、オンラインの話については、ご異論なければ、じゃあ、今回は一旦ちょっと保留というところよろしいでしょうか。

済みません、内容面でちょっとあとプラス何点か言ってください。

○石澤委員

さくらの石澤なんですけれど、これ、前回のアンケートの結果などを見てたときも、話に上がっていたというような記憶もあるんですけど、全体評価のところの(2)で、その他、保育内容に関してご意見、ご要望があればというのは、それは、上記の①の保育内容の部分を特記してここ、何か書いてほしいということで、保育内容あるんですけど。

○東海林委員長

①というか、(1)。

○石澤委員

上にいっぱい、1、2、3って項目がありますよね。

○東海林委員長

はい。

○石澤委員

①は保育内容ということで、ほかにいろいろ保育士の対応とかあ

る中のここだけを抜粋して何か意見が欲しいなという意図で取り組まれるものなんでしょう。

- 東海林委員長 いえ、違うはずですね。
- 石澤委員 ですよね。何か……。
- 東海林委員長 要するに1-bの①の保育内容という単語と、(2)の保育内容というのは、もう一緒なんですけど……。
- 石澤委員 もうちょっと全体的なところでということなんですよね。
- 東海林委員長 そうです。要するに(1-b)、1-aも含めてですけど、(1)全体に対して自由ということなんで、区切ってやっちゃっても……。
- 石澤委員 何かそこが何かもうちょっと何か伝わるような形で言葉が変えられたらなみたいな。
- 東海林委員長 そうですね。じゃあ、ここは誤解ないように、保育にやれば大丈夫ですか。
- 石澤委員 ですかね。
- 東海林委員長 保育に関して。
- 石澤委員 まだそのほうがもうちょっと全体的な印象もあるかなと思いますけど。
- 東海林委員長 そうですね。わかりました。ちょっとそれはご異論なければ相談して……。

それから、3が今回新しいやつになりまして、前年のアンケートで、2のところ、一番多かったのが保育士の欠員を含めた体制の問題ということでした。2の(1)のO。なので、それに引き続きというところで、じゃあ、もうちょっと詳しく聞いてみましょうという趣旨で、その設問を設けたような感じになっています。ここは、だから、全く新しい設問になるので、自分でもうまく選択肢とかできてるかはちょっとわかんないんですけど、ここは、ちょっと多少お時間とってでもご意見いただけるとありがたいんですが、じゃあ、一回読んでいただいてもよろしいですかね、少し。

(2-a)のところ、9、10が空欄になってますけど、これは、思いつかなかったというか、ほかにこういうのがあればというのをに入れるためにあえてあけてあるところなんで、この案ももしいただければありがたいんですけど。

保護者の委員の方に読んでいただきつつ、もし可能であれば、園長先生のほうにも……ご意見いただけるとどうかなという気もするんですけど、お答えいただける範囲で。

- 杉山委員 済みません、質問してもいいですか。
- 東海林委員長 はい。
- 杉山委員 わかたけの杉山です。  
⑥ってどういうようなイメージですか、体の状態の悪化というのは。
- 東海林委員長 何かけがしたとか。ちょっと伝わらないですかね。だから、園の生活で何か、心の状態の悪化というのは何となくイメージついたんですけど、それに並べて、心と来たら体かなってやった感じなんですけど、もっとうまい表現があったら。  
そもそもこの設問自体がちょっととかという意見でも構わないん

ですけど。

- 細部委員 済みません、わかたけの細部ですけれど、まず、2 - a、これ、(2)ですか。
- 東海林委員長 そうですね。
- 細部委員 そうですね。
- 東海林委員長 (2)が複数あるので、a、bで。
- 細部委員 (2)ですね。この問題で、設問の中に、あなたが最も深刻だと思う内容をというのは、何かこれを見た人が何かそんな深刻な事態が起きてるのってちょっとあおるようなイメージもなきにしもあらずなので、既に出ている、または今後出るとされる保育への支障について、あなたが最も影響があると思う内容をみたいなやわらかい感じにしたほうがいいかなと思うのが一つと、あと、もう一つは、今、杉山園長からも出ていた子どもの体の状態の悪化というの、何かいろいろ勘ぐってしまう人がいるような気もするので、一番わかりやすいのは、子どもがちょっと不安定になったとか、保育園に行きたがらなくなったみたいなの状態の悪化も、影響みたいな、悪化って書くよりは影響という言葉のほうがいいかなというのと、それがあれば、例えばちょっとけがをする回数が増えたというところは、屋外活動の質の低下と、これも園庭と限らず屋外活動の質への影響みたいな書き方にして、それ以外は、もうその他で具体的にみたいな感じでもいいのかなという気がしますが、どうでしょうか。
- 東海林委員長 6は外し……。
- 細部委員 そうですね。9、10も特に要らないかなという気がして、8番を園庭と限らず、屋外活動みたいな、7は屋内、8は屋外というような感じで、中と外ぐらいに分けても、ある程度傾向は見えるかなと。
- 東海林委員長 屋内、屋外で。
- 細部委員 2 - a、ごめんなさい、下に2 - bがあるから、2 - aで合ってるんですね。
- 東海林委員長 そうなんです、はい。  
この3の設問自体はどうですかね。僕は、保育士体制、保育士の欠員を含めて体制の問題というのがトップに来たのであれば、具体的にそこに現状課題があると考えている人が多いということだと思うので、その課題の内容を尋ねるという意味での設問ではあるんですけど、もっとほかのことを聞いたほうがいいのか、何かそういうのがあればそれ、大幅に直すってなると、時間的にもというところがあったりもするんですけど、ご意見として教えていただければなと。
- 角田委員 けやきの角田です。  
私は、この2 - aの設問があるのはいいと思っていて、多分委員とかではなく、ただ普通の父母の立場として考えても、実際保育士が不足していた場合に、出る影響で、こういうものが心配だというのは具体的にいろいろあると思うので、あっていいと思います。  
さっきのご提案で、園内、園外に分けるというお話が出たんですけど、そうすると、4の散歩、プール等の回数、質の低下とかぶっ

てしまうので、あおるとは特に思わないのもあって、園内外での事故の増加の可能性みたいな形で入れておくのは、特にあおってるにも当たらないと思いますし、いいんじゃないかなと思うんですけど、ちょっとそれに合った項目がないので。

○石澤委員 さくらの石澤ですけれど、ここに、前の2番の設問、保育ニーズについてというところで、結局保育士の欠員を含めた体制の問題というのが上がっていて、ここ、1位につけた方は、そこに要望内容も書いて、さらにこっちでもうちょっとそこについて聞かれるという感じなんですよね、きっとね。

○東海林委員長 そうですね。今年もそう、同じ設問してるから、なるほど。

○石澤委員 結局その1位の方が多いから、書いて、何か例えばここだけ特化するんであれば、これを選んだ方は次の項目へじゃないですけど、何がこっちだけ書くでもいいような形とか、何か。

○東海林委員長 確かにそうですね。

○石澤委員 ちょっと重なる感が。

○東海林委員長 2で、びっちり書いた内容をまた繰り返しという感じになっちゃいそう。

○石澤委員 何か多分ここを問題として感じている方、多いかなと思うので、何かこういう上の3番で上げてあるような具体的な項目を上げた上で、例えば要望したいこととかは何ですかみたいなのを、これって、ここは実際支障がどういうふうに出るか出ないかという話だけになるので、要望というところは確かに書く欄がないので、でも、何かこういうことを踏まえた上で要望が書けたりするような感じだと、ちょっと書きやすいかなんていうふうに思ったりもするんですけど。なので、○を選んだ方は次のページへみたいにしちゃって、そこにもう全部書けるようにして、ここは省くようにするかとか、2以下のことでも書きたい人はというところでは書く方はいるかもしれないんですけど。

○長澤委員 小金井の長澤です。この3番の質問を先に持ってきちゃだめなんですか。

○東海林委員長 なるほど。

○長澤委員 去年のアンケートを反映して、まず、ここを聞きたいです。2番に持ってくるかしてから、もう少しトータルの保育ニーズについて、また最後に持ってくるという質問にすると、まず、先にここで要望も不満も書いておいて、保育ニーズについても、選択肢の中で改めて入れといてもいいんですけど、具体的にそこだけ前倒しで質問をするってすると、何か先に書いたのにまた書かなきゃいけないはないかなと思ったんですけど。

○東海林委員長 そうですね。ただし、一つあるとすると、2のところというのは、これ、去年から引き続きのところなので、傾向を見たいというのが一つあって、おっしゃるとおり、3と2を逆にすると、二重に書きちゃうというところは防げるかもしれないんですけど、何かすごく2に影響しそうとか……。

○細部委員 誘導するみたいな感じで、誘導する形になっちゃう。

○東海林委員長 誘導というふうになっちゃうかなという懸念もありますね。だか

ら、1、2は、毎年同じような感じにしといて、その3で、保育士の欠員については別に設問がありますよということを2のページの中で表現するというのが比較的可能なところかなという気はしますね。だから、○の選択肢の横に米印つけるか、あるいは、(2)の要望などについてというところで、○の選択肢については、次のページでより詳しく書く欄があるのでとあって、注として入れとくという感じでしょうか。

○石澤委員       それがあると、ごめんなさい、さくら、石澤ですけど、多分全部見てから答えようよりは、もうあんまり見ずに順番に答えるので…

○東海林委員長   そうですね。

○石澤委員       何か注意書きがあると、それがあるとかなというのわかるんじゃないかって。

○東海林委員長   わかりました。また、これもご意見あればというところですけど、一旦この場ではその注を入れる方向で調整させていただいてよろしいでしょうか。

3の2-aですね、選択肢のところはどうしましょう。今結構細かくというか、細分化させてますけど、今、もうちょっとまとめたほうが良いという意見と、逆にもうちょっと細かくしてもというような意見もあったように思うんですけど、その面でご意見ある方とかいらっしゃいますか。園長先生は、ちょっと園としては積極的にとりたくないアンケートかもしれないですけど、支障についてということなので。でも、保護者が考えているというところについては、特段問題ないですよ、懸念という面も含めてなんで。

○前島委員       くりのみ保育園の前島ですが、選択があったほうが書きやすいとは思いますが、それと、ただ、不足、保育士が体制がない中で原因と思っている方は、多分これ全部書かれる方もいらっしゃるだろうな、思われている方はいらっしゃると思うんで、3つ以内というのが、一番思うところからだとは思いますが、こういう具体例がある中でという選択というか、具体例として挙げて欄があると、書きやすいのではないかなとは思いますが。選択しなきゃいけないではなく、具体的にこういう項目があって、ここについては。この3つ以内だと、集計するに当たって3つ以内のほうが、あんまり全部書かれると集計が大変になるというのはよくわかるんですが、そこはどうなんでしょうか。思われる方は多分全てここでこうって思われるということが多いのかなと思うんですけど。

○東海林委員長   3つあれば、どうなんでしょう。多少なりとも傾向をつかみたいというところもあるので、全部も可というふうにしちゃうと、それがどうかなという気はするんですけど。

○前島委員       收拾がつかなくなっちゃうかもしれないですね。

○東海林委員長   そうですね。当初僕が深刻という言葉使ったんですけど、本当に一番大事だと思ってるところが何かぼけちゃうかなという気がしますね。だから、3つを5つとかいう手もありますけど、ただ、選択肢、今でも8個しかないの、その辺の絡みで何か3つぐらいかなという数字なんですけど。そのあたり、どうですかね。

- 本間委員 さくらの本間です。今私、手元で資料115、去年のアンケート結果を見ていて、ちょっと思ったんですけど、代表的なニーズとして、自由記入欄に記入いただいたやつを上げてるやつも、この選択肢に全部入ってはいるので、これ以上細かくする必要はないのかなとは思うんですね。あとは、その結果、以前のほうを見ていると、去年のアンケートって、何か保育士を含める体制の問題というのと待機児童の解消というのがほかの選択肢の2.5倍ぐらい回答が多くって、もう断トツにここが多いですという話だと思ってるんで、待機児童はちょっとこの会の趣旨とは違うので、やっぱり保育士の欠員を含めた体制の問題って、特に今年もまた〇がすごく多くてということになると、来年以降もまたここ、引き続きこういうふうアンケートとっていくと思うので、これぐらいの選択肢にしておいて、傾向をつかむというほうがいいのかと思います。
- 福野委員 さくらの福野です。2-bの上記の2-aで選択した保育への支障について、既に出ている具体的な事例や今後出ると思われる内容があれば、以下に記載してくださいということだと、もっと自由に、今の公立保育園の体制について思うところを書いてくださいみたいな記載項目が良いと思います。これだと自由に書けない、書きづらいのではないかなと思います。
- 東海林委員長 なるほど。今のご意見、どうでしょうか。
- 福野委員 さくらの福野です。4のご意見、要望があればご記入くださいというのを全て含まれてるというふうに思ったらよいのでしょうか。
- 東海林委員長 もちろんここに、4のところに書いていただいてもいいかなという思いはありつつ、3のところについては、今回支障というところについて絞って把握したいなという個人的な思いがあり、今の形になっている。保育士体制全体ということだと、2-b、2-cでいけますか、そのほうがよかったですか。
- 小方委員 小金井の小方です。  
欠員で出てくる問題って、安全の確保ができないというのと質の低下だと思うので、それってすごく感じるところが個人差がそれぞれあると思うんですよね。なので、この1、2、3、これ、細かくこういうふうになっちゃうと、これを、そしてやっぱり3つ以内というの、とても選びにくいし、どれぐらい反映されるかな、果たしてというのが。
- 東海林委員長 反映というのは、思ってるところの……。
- 小方委員 保育の質、例えばプール等の回数、そして散歩の質とかいうのも、みんなそれぞれ感じてるところが違うと思うので、やっぱりその思いが反映できる自由欄みたいなのがきちんとあつてのことかなというふうには思います。
- 東海林委員長 とすると、2-bについては、今のイメージに近いというような理解でいいんですか。それとも、別の。
- 小方委員 具体的に出す人もいるでしょうし、自分が思ってる考えを書く人もいるでしょうし。
- 東海林委員長 自由意見欄だから、ある程度幅が出るのは、そういうものかなという気もして、11番のその他の欄を、今は11ですけど、これを

9とかにして、その他という選択肢をつくりつつ、その選択肢におさまり切れない内容というのは2-bで書いてもらいつつ、もし保育士体制全体についてというところを聞くのであれば、例えば2-cとかで別途設問を設けるという手もあると思いますけど。それはやってもいいんじゃないかなという気もしますけど。確かに保育士体制についてというところで、それを支障の話に解釈しちゃってるのは、今年アンケートでそれをやってるというだけなので、また別の趣旨で保育士体制、保育士の欠員を含めた体制の問題というのを選んでるんだよという方にとっては、2-cの設問があったほうが思いは書きやすいところはあるかもしれないですね。ちょっと枠は狭まっちゃいますけど、そうしましょうか。

今日は、そんなところですかね。

○福野委員

さくらの福野です。

別件でもいいですか。さくら保育園、毎年回収率が低いのですが、各園で工夫している、1週間前になったらお知らせを出すとか、そういう情報を知りたいのですが、何かなさっていますか。

○細部委員

わかたけは高いんですよ。わかたけの細部ですけど、ちょっと記憶が曖昧なんですけど、2年前のときは、何か出したか出さなかったかをクラスの提出封筒にチェックしてもらってないか。ないか、違う。済みません、違った。じゃあ、それは別でした、ごめんなさい。違いましたね。じゃあ、単純になぜか回収率が、関心が高いのかなと思うんですけど。

○東海林委員長 タイミングという、役員会があったりとか、そういうのも影響すると思うんですよ。

○細部委員

何か全体的に何か協力的ですよ、毎年。

○杉山委員

おかげさまで。

○石倉委員

わかたけの石倉です。

多分去年メールを送ってたような気がします。アンケート、父母会の多分メーリスだった、父母会の各クラスの役員とかで、その人に送って、そのケ・・・だったのか、オールか忘れましたが、アンケートをやってます、なので、今日ウオールポケット入れました、なので、いついつまでなんでご協力くださいって形でメールを流した気がします。気がしますという、何か天の声が聞こえる気がします。多分皆さん気づくので、何かわかたけだけ見ても、確かにいつやっても7割、8割弱ぐらいなんで、安定しているんで、多分そういった前の会長さんとか、前の前の会長さんとかの多分ご尽力だと思いますが。

○角田委員

けやきの角田です。

けやきもこの間行ったアンケートから、父母会から保護者皆さんへのメールができるようになって、アンケートを回しましたというのと、そのメールには、こういった資料がありますよというような市のホームページの案内とかも載せて、そういったメールが全世帯にそれが送られるようになって、認知されやすくなったというのがあります。けやきの場合、その後、集計の結果についても一斉送信されていたので、そういったことで気づきやすくなる。ウオールポケ

ットだけだとやっぱりいろんなものに紛れて、ちょっとあっちにや  
ってるうちに、子どもがこぼしたとかで答えられなくなったりする  
こともあるので、そういったリマインドの効果というのものもある程度  
あるんじゃないかなと。

- 東海林委員長 園の側では、特段何か差があったりとかって、そういうことじゃ  
ないんですか。今のは父母側の、保護者側のほうの取り組みという  
ことなんですけど。
- 杉山委員 多分変わらないと思いますけど。
- 東海林委員長 そうですか。保護者側のほうは、じゃあ、回収率、高いにこした  
ことは絶対ないと思うので、保護者側のほうは、じゃあ、五園連の  
ほうとかともちょっと相談させてもらって、日程はタイトですけど、  
できることを考えるという感じでやりましょう。
- 角田委員 園側の取り組みで思い出したんですけど、本当に大事なことは、  
けやきの場合、入り口入ってすぐのところ、椅子を立てかけて、  
そこにでっかくメッセージボードみたいなのを立てて、本当に重要  
なことはそこに書いて知らせていたりすることが多くて、それは嫌  
でも目に入るの、保護者は気づきやすくなると思います。アンケ  
ートは余りないですけど。
- 細部委員 例えば……。
- 角田委員 例えば普通の行事のことでも、上に上がってくださいますとか、あと、  
何か近辺で何かが起こった場合も、こういうことがあるので、気をつ  
けてくださいます、そういう告知は本当に入り口すぐの出口の扉に  
張るか、もっと気合いが入っているときは、その椅子にメッセージ  
ボードをつけるというのを結構やっていて、それは効果的だと思います。  
園側ができる取り組みとしたら、配布したので、答えてくださ  
いますみたいなことがあれば見ると思います。
- 細部委員 わかりました。ありがとうございます。
- 東海林委員長 園の施設というか、設備を使うというところも、ご協力いただけ  
る範囲で、じゃあ、ちょっと相談させてもらってという感じで、じゃ  
あ、今年はやりたいと思います。  
ほかにご意見がなければ……。
- 内田委員 済みません、いいですか。
- 東海林委員長 はい。
- 内田委員 済みません、戻っちゃうんですけども、1番の1-bの⑱の保  
育日時が月から土って、これ、多分9時から19時なんですけど、  
7時の間違いかなとは思ってます。開所時間ですよ。
- 東海林委員長 いや、そこ、実を言うと、昨年ベースなんですけど、でも、単純  
なミスであれば、別に直しちゃって大丈夫だと思うので。
- 内田委員 開所だと7時から19時なので、そのほうがいいかなと。
- 東海林委員長 じゃあ、大体今日出るところは、出尽くしたかな。  
どうぞ。
- 細部委員 済みません、わかたけの細部です。  
済みません、ちょっと疑問に思ったところは、去年のアンケート  
で、病児病後児保育のところ、かなり詳しくとっていたじゃないで  
すか。去年もそれは第3位、4位だったんですけども、その後、

ちょっといろいろお知らせ、それをお知らせするようなものが園に掲示されたりしていたので、アンケートを受けて、その対応策としてやっているのかなと思っていたんですけど、その去年の結果を受けて、市側がちょっとこういう努力をして、こういう結果につながりましたみたいなどころは、もう触れなくていいのかなというのは気にはなっています。

○東海林委員長 アンケートの中で。

○細部委員 昨年アンケートの結果を受けて、こういう改善しましたみたいもの、もう要らないのかなというのは少し気になります。何か余り改善されて、認知度は多少あっても、利用しやすいイメージは余り変わっていないのかなという気がして、それでいいのかなという疑問があるにはあります。

○東海林委員長 まず、現実、どういう取り組みが行われたかということは把握されてないんですよね、今の時点で。

○細部委員 一度聞いた気もするんですけど。

○東海林委員長 そうですか。運協の中で聞いてみるというのは一個あるなとは思いうんですよね。それをお伝えするというのは可能かなと思うんですけど、アンケートだと、ちょっとスペース的なものもあり、去年それを受けて何をして、その結果、どういうふうに利用者数が変わってとかということまでなると、時間的には相当きついと思うんですよね。だから、ただ、実際アンケート書いていただいた方にとっては重要な情報だとは思っているので、運協の中で、もしあれだったら、今後議題の一部として保護者のほうにフィードバックするというのでどうかと思いますけど、私は。いいですか。

○細部委員 はい。

○東海林委員長 ほかにはありますか。

じゃあ、ちょっと今出たご意見を反映しつつ、細かい表記については事務局に一任していただいてという形で、また可能な限り案文をお示しして、事務局のほうで印刷、配布というのを8月の18めでということでしょうか。

ありがとうございます。

○細部委員 済みません、わかたけの細部ですけど、配布の仕方は、昨年と同じで、もう印刷したものが各園に送られて、世帯数プラスアルファぐらい送られて、園のほうで配布ですか。

○東海林委員長 それはお願いできる。

○鈴木委員 はい。

○細部委員 はい。回収も……。

○東海林委員長 回収も……。

○鈴木委員 回収もいつも、各園どうやっていたのか、私よくわかんないですけど、封筒か何かしていたんじゃないか。

○東海林委員長 ありがとうございます。

じゃあ、次の議題に。

○河野委員長 じゃあ、次に行きまして、(4)の当面の課題についてのこの議題に入りたいと思います。

配付資料が5点出ておりますので、こちらのほうの説明……、ご

めんなさい、さっき終わってますから、4点ですね。(5)の資料の説明を事務局からいたします。

○鈴木委員

それでは、まず、臨時職員の賃金単価一覧、資料130をごらんください。こちらにつきましては、26市の状況を一表としています。ちょっと単価は各市、公表を前提に収集した情報ではないので、申しわけないんですけども、A、B、Cという形で、市名は伏せさせていただいております。小金井市のところだけは市名を出しておりますが、26市の状況を記載をしました。保育士の有資格の部分の賃金単価の高いほうから順に並べております。小金井市は13番目と、表の、見ていただくとわかるとおり、ほぼ中間に位置する状況となっています。平均額としましては、表の下のほうをごらんいただきたいんですけども、1,051円であり、ほぼ平均額と同様の金額となっています。詳細については、資料をごらんいただきたいと思います。

それから、資料の131をごらんください。近隣市及び類似団体における正社員（保育士）採用試験の実施状況の過去3年間です。25、26、27年度の状況を各市のホームページを調査して、一覧の表としたものです。ホームページの記載内容によっては、ちょっと不明というところもあったのですが、申しわけございません、その先までは確認することはできておりません。各市の採用試験の実施の有無、回数、合格者数について一表といたしました。詳細は資料をごらんください。

それから、保育課の職種一覧です。こちらにつきましては、保育課のほうの雇用されているいわゆる正規職員以外の職の一覧をつくってみました。区分として、任期付、非常勤嘱託、臨時の職で、それぞれ中に任期付の職員、保育士等、それから障がい児保育等々、記載をしております。

済みません、それ、今ちょっと見えて、間違いといえますか、一部字が落ちておまして、申しわけございません。非常勤嘱託の2段目の職種のところで、給食調で、理がおこっちゃってます。申しわけございません。調理です。給食調理非常勤嘱託職員です。済みません、訂正のほうよろしくお願いたします。

内容につきましては、職務の内容、備考については、根拠やどここの園のみとか、そういうことを記載してございますので、詳細は資料をごらんいただきたいと思います。

○菅野委員

じゃあ、続きまして、資料133について、私のほうからご説明を申し上げます。

本資料は、毎回臨時職員の状況ということでお出ししているものですが、今年の5月15日現在、そして6月15日現在及び7月15日現在の募集配置状況等をお示ししてございます。前回もご説明申し上げましたが、本来臨時職員さんの週当たりの雇用時間が週5日の7時間30分、つまり37時間30分となっておりますけれども、これに満たないというふうに捉えられる部分の状況についてお示ししております。また、5月、6月、7月のところの下段のほうでは、今回臨時職員以外の欠員の状況についてもお示しをござ

います。詳細は資料のとおりとなりますが、引き続き適切な臨時職員の配置等を所管課と調整して対応してまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

○河野委員長 資料の説明が終わりました。

なかなか細かい資料ですので、把握しにくい面もあると思いますけれども、ご質問、ご意見ございましたら、お願いします。

○小方委員 小金井の小方です。補足というか、資料132なんですけれども、臨時職員の中に、これ以外に、例えば一時保育の臨職2人、うちは入ってますので、何ていう名前かわからないんだけど、新規事業でついた臨時職員いるので、それ、補足させていただきます。

○東海林委員長 くりのみの東海林です。

資料132に限らずなんですけれども、今資料132についての補足出たんですけど、一応イメージとしては、これを充実させていくというような感じで考えていて、今出た補足のところについては直していただいて、次回とかにまた出していただくというイメージなんですけど、それで大丈夫ですかね。

○鈴木委員 はい。

○東海林委員長 プラス、私のほうからちょっと質問させていただきたいのが、資料131の種別なんですけど、状況類似市って、これは何かもともとある言葉、それとも、何か今回の資料つくるに当たって、どういう状況が類似しているところを示したいということであれば、ちょっと内容を教えていただきたいんですけど。

○鈴木委員 まず、近隣市というのは、読んで字のごとく、隣接している市を表示しています。状況類似市につきましては、市町村を幾つかのパターンに区分しているんですね。類似団体という言い方をしているところなんですけども、今回は状況類似市ということで表記をしています。人口であったり、面積であったり、財政規模であったりと幾つかの項目、指数をもとに、全国的にいろんな状況が比較できるように類似団体という形でグループ分けされているんですね。小金井市と同じグループに入っている都内の26市の中の状況類似市、類似団体を類という形でここは表現しています。

○東海林委員長 それは国のほうで何かカテゴリーされてるんですか。

○鈴木委員 そうですね。

○東海林委員長 理由、説明をぜひ。状況類似市という言葉じゃないんですね……。上に、タイトルのところにあるんですけど、類似団体というのが……。

○鈴木委員 そうです。

○東海林委員長 じゃあ、その直しと。そうですね、説明があるとわかりやすいかなと思います。

それから、132なんですけども、これはぜひ、時間が多少かかっても構わないので、各園の人数の割合だけでもいいんですけど、人数を知りたいなという気がするんですけど、いかがでしょう。

○鈴木委員 例えばある一定の時点で、例えば何月何日付で何人いるというのは出ます。さっきも133の資料で説明したように、若干欠員が出ている、足りない部分もあります。何人が正しい数字というのはなかなか表示はできないんですけど、ある一定時点の在籍職員数であ

れば、数字は押さえられます。

- 東海林委員長 それで構わないと思うんですけど、だから、直近だと27年の4月1日とかというところで、各園のそれぞれの人数というのを、じゃあ、できれば次回まで。
- 鈴木委員 はい、大丈夫です。
- 東海林委員長 お願いできればと思います。
- 細部委員 済みません、わかたけの細部なんですけど、何か2期目にもなって、いまだによくわかっていなくて、お恥ずかしいんですけども、今の資料132の任期付、非常勤嘱託、臨時というのと、133でいつも提供いただいている臨時職員というのは、この132の臨時という部分が133の臨時職員とまずイコールだと思っていいんですか。
- 菅野委員 そのとおりです。
- 細部委員 そのとおりですね。  
もう一つ、そうすると、132でいう任期付と非常勤嘱託というのは、133の資料でいう正規職員の中に含まれるんでしょうか。
- 菅野委員 今回の133の資料の中には、非常勤さんの欠員はないんですね。ですので、例えば5月15日と6月15日の2番のところで正規職員（育休代替任期付職員）とありますが、これが資料の132で申しますと、一番上の任期付の育児休業代替任期付職員という形になります。それから、3番の特例パートという部分がございまして、これは132でいいますと、非常勤嘱託の中の11時間保育等非常勤嘱託職員、これに該当するものでございまして。以上です。
- 東海林委員長 今お話あった非常勤さんの欠員がないというのは、資料がないということじゃなくて、要するに定員が埋まっているという理解で…。
- 菅野委員 この段階では埋まっております。
- 東海林委員長 なるほど。  
埋まってるという表記があると、多分誤解がないんだと思うんですけど。この2、3ができたのって今回からだと思うんですけど、単純に資料として表現してないのか。いいですか、単純に資料として表現してないのか、ちゃんと必要なというか、定員として定められた分だけ入っているというところで表記がないのか、その区別がちょっとつかないので、そういう意味では…。
- 菅野委員 保育政策担当なんですけど、済みません、ちょっと私の今のご説明で、訂正ですが、非常勤嘱託の中でも足りていない、特例パート以外ということですよ。特例パート以外でも足りてないところがあるということで、済みません、ちょっと私のほうで、これは落としておりますので、次回、修正という形でご提出させていただきます。
- 東海林委員長 そうですね。なので、なおさら埋まってるという理解なんであれば、別にそれが合ってる間違ってるというのは後々訂正していただくこととして、表現だけはしてほしいんですよ。そうすると、ぱっと見たときに、埋まってはいないよというのがすぐ出てくると思うので。
- 菅野委員 はい。わかりました。

- 細部委員 済みません、わかたけ、細部ですが、ちょっとまだよくわかっていないんですけど、臨時は臨時でイコールでいいんですけど、非常勤嘱託がこの3番の特例パートに当たるわけじゃないんですよ。ちょっとその辺が、何か何が正規職員で、何が臨時職員でというのがちょっとよく、済みません。
- 鈴木委員 じゃあ、ちょっと補足を。済みません、まず、133の資料の特例パートというのが132の資料の中段の非常勤嘱託の11時間保育等非常勤嘱託職員というのは、先ほどご説明したとおりです。特例パート、朝パート、夕パートなんていう言い方を園のほうではしておりますけども、132の表については、予算上の名称で並べているところです。なので、統一すれば一番わかりやすかったんですけど、済みません、ちょっと資料によって同じ職について違う名前、表記になっているということで、混乱させてしまったのかなというふうに思います。
- 東海林委員長 次回は、そこもちょっと直していただいて、またお示しいただけると。こっちの表でも、次でいう特例パートとかって書いておけば、それでも十分なんです。
- 鈴木委員 わかりました。それでは、表記について考えてみます。
- 細部委員 済みません、たびたび、細部ですが、そうすると、11時間保育等非常勤嘱託職員以外の例えば障がい児保育非常勤嘱託職員とか等々というのは、もし133番に、そこで欠員が出てくるとすると、どこに入ってくるのでしょうか。
- 鈴木委員 133の資料では、臨時職員、正規、それから特例、11時間保育のところしか記載がない形になっています。障がい児保育非常勤嘱託職員については、障がい児枠の3歳以上で入所されるお子さんに加配として対応する、加配対応の職員です。なので、定員があるわけじゃないんですよ。そのお子さん、対象のお子さんがある場合については、非常勤嘱託職員1名を充てるというような形で対応していますので、対象者がいない場合はゼロという場合もあるといえはる。全て定員があるわけじゃない。予算上何人という形では措置しているところなんですけども、場合によっては雇用されないこともある。例えば臨時職員の長欠とか欠員とかというのは、状況によって採用されるものなので、状況が生じなければ雇用されないというのがございます。
- 今後、例えば非常勤嘱託のどの職が、例えば用務業務についていけば、けやき保育園のみのほうを除けば、各園1の用務業務がいるんですけども、それが欠員になれば、それはこの職員の募集配置状況のほうに記載を、そのときにはするのかなというふうに考えます。
- 東海林委員長 くりのみ、東海林ですけど、なお、お願いしたいのは、足りないときに載せるというんだと、やっぱり、だから、わかんないんです。足りてるのであれば、要するにここに載ってないやつは全部足りてるという認識というぐらゐの保証をしていただきたいんですよ。表をつくり忘れて載ってないのか、ほかのところは足りてるという主張の資料なのかの区別はつけたいんですけど。
- 鈴木委員 去年までは臨職だけだったよね。

- 菅野委員 欠員が出たときだけ出てたんですね。
- 小方委員 不足状況って書いてあるね。埋まってる分は載ってないので。
- 東海林委員長 ただ、今まさに、実はというのがあったじゃないですか、非常勤さんでしたっけ。だから、要するに、だから、ほかは埋まってますって一言あるのとないのでもまた全然違うので、もし不足だけの表であれば、ほかのこの職種、こっちで出てる職種については全部埋まってるというふうに常に思っていていいというぐらいにさせていただきたいんですね。それを埋まってますと一々、一行ずつ書くかどうかは別にして。
- 菅野委員 表として出すか、それとも、今おっしゃられたように、一文として、これ以外の職については足りてますとか、何かそういう表現でお示しするのはちょっと考えさせてください。
- 東海林委員長 はい。
- 石倉委員 わかたけ、石倉ですけど、これって今日配られたんですね、参考という。
- 菅野委員 参考、はい。
- 石倉委員 この1に、今のお話にちょっと近しいのかなと思って読ませていただいたんですけど、多分、もう4月過ぎちゃったんですが、多分配置できているかなどがわかるはずですよ、ここに多分書いていらっしゃる方は多分前回延長された方だと思うんですけど、多分今の話に近くて、確かにこの表ってどのくらい足らないので、今募集かけてますなんですけど、多分棚卸しじゃないですけど、年に1回でもどっかのタイミングで、結局〇〇保育園、まさにこの132の表と近くて、1分の1とか2分の2とかというものがあって、そこから、実はここマイナスですとかという話があるのこういう推移なんだねという、この133みたいな表があると、多分みんな、このぐらいの人数がいてみたいなのがわかりやすいかなと思っていて、まさにこのご意見ってすごく的を得てるなと思いましたんで、そんな表が、例えば10月1日ですとか、下期なので、それでも構わないですし、どっかのタイミングで何かそういう定員とそれに対する、まさにこの非常勤は全部このとおり足りてますみたいな、この予算上の表現でもいいですし、みんながわかりやすい表現でもいいと思うので。これ見ると、なるほど、なるほどって、我々のほうも安心もしたりとか、じゃあ、ここはいけるから、ここ足らない分、どういうふうにしてあげればいいんですかみたいな話につながっていくのかなと思っているので、そんな表をぜひいただきたいなと思います。お忙しいと思いますけど。
- 東海林委員長 ここを整理しとかなないと、話かみ合っていない場面が多分、第1期って多々あったと思います。だから、そういう意味でも、ちょっと細かい資料にはなっちゃうんですけど、ぜひというところではあります。
- ほかにご意見、ご質問。
- 本間委員 さくらの本間です。
- 素朴な疑問で申しわけないですけど、今4枚セットでいただいたものというのは、何か定期的に出していただいているようなものなん

ですか。

- 鈴木委員 133については、毎回、毎会議ごとに出しています。それから、130、131、132については、前回の会議の中でご要望があったり、質問があった事項について、今回資料として出しています。
- 石倉委員 そうすると、例えば130でいくと、前回保育士の臨時職員がちょっと集まらないねという課題の中で、保育士のそもそもお給料が近隣と安いかもしれないから、そこの調べたほうがいいよねということを出てきた資料ですということ。
- 鈴木委員 そうです。近隣と比較して安いんじゃないかみたいな、たしか議論があって、実態を調べるということで今回、として出したということ。
- 石倉委員 これを見る限りは、決してそういうことはなくて、平均的ですよというのが意味しているということですよ。
- 鈴木委員 そうです。
- 石倉委員 131は、正規のほうの保育士の採用のところなんですけど、これっていうのは、正規の任期付のものになるんですか、それとも、特にそういうものではなくて、正規の任期なしの職員の方の採用ということですか。
- 菅野委員 この131のこの資料につきましては、正規職員、任期付とかではなく、正規職員としての採用を行ったかどうか。ただ、これはここにも書いてありますとおり、合格者人数なんですね。ですから、実際にその自治体に入られたかどうかまではわかりません。これはホームページで調べた限りですので、もしかしたら、例えば8人って書いてあっても、実際に例えば辞退される方もいらっしゃると思いますので、入ったかどうかまでは、そこまではこの資料ではわからないという状況です。
- 石倉委員 引き続きで申しわけないんですけど、ここに、実際の募集人数を書いているのは、これは特に公表がされてないんですか。
- 菅野委員 ホームページ上でいきますと、何人というふうに出ないんです。出してる自治体さんもあるんですけども、若干名という表現のほうが多いんですね。そうすると、どうしても書けないということもありまして、ただ、今回調べた近隣市、類似団体につきましては、もう合格結果だけしか出てなかったもので、実際に何人を募集されたのかというのはちょっと不明だったものなので、申しわけございませんが、こういう表になっているということでご理解ください。
- 石倉委員 この資料が、私いただいている趣旨というのは、やっぱり正規職員が何かどうのという話は余り前回の中では極端に触れられてなかったのかなとは思ったんですけど、この資料が出されたご趣旨というのは、何か特段理由があったんでしょうか。
- 東海林委員長 それ、僕から、くりのみの東海林です。ご説明します。  
私はどっちかという逆で、前回の僕がしゃべったときに勝手に頭で思っていたのは、臨時職員さんが余り集まらないねというときに、近隣で正規でとってるところがあるから、それだと来ないよねという話の流れだったような気がして、それで、実は最初は市のほうで用意していただいたのは、この臨時職員さんの賃金単価の一覧

表だけだったんですけど、私のほうで、わかる範囲で構わないのでということで、この正規のほうも急遽つくっていただいたんですね。そういう意味でいうと、臨職さんの単価というのは、確かに真ん中ら辺で、集まらないというほうの影響を考えると、どっちのほうの影響あるのかという、皆さん、どうでしょうかというところなんですけど、僕は正規の表というのも結構説得力はあるとは思っていますよね。例えば府中だったり、三鷹だったり、あるいは調布、小平、これみんな近隣市ですけど、先ほど出てきた類似団体ではないにせよ、だから、同じことができるかどうかというのはまた別にして、ただ、近隣の市で実際正規の採用が、少なくとも合格者が出ているので、ということは、当然募集があって、その中でということを読めるのかなという気はするんですよね。という趣旨で、今回ちょっと出してもらったという形です。

○石倉委員　　これを見ると、近隣市では少なくとも手を挙げる人がいて、正規に関しては、応募がちゃんとあって、合格もしているということを見ると、そもそも時給云々という前に臨時という枠で募集すること自体がなかなか難しいんじゃないかというふうに読み取れるよねという、

○東海林委員長　　そういうふうにも読めるかなというぐらいだと思うんですね。そのあたりはいかがなんでしょう、市のお考えとして。

○鈴木委員　　正規職員の補充をしていないというのはちょっと置いて、130見ていただくとわかりますように、臨時の職というのは、本当に短期とか、特定目的のために雇用しているんですね。なので、変な話、産休や育休に入る人のところを正規職員というわけは当然いかないわけで、必ずしも正規が近隣で採用されている、募集かけて採用されているから、うちの臨時職員が埋まらない、応募が少ないというのとはちょっと違うのかなという気がします。

○東海林委員長　　それは、もうそもそも働く場としてもう全然別物だということですか。

○鈴木委員　　そうですね。民間のほうも、当然今保育士不足と言われている中で、民間の状況ちょっとわからないんですけども、処遇を改善しつつ、雇用を頑張ってらっしゃるという情報は入ってきますので、資格をお持ちの方でそれなりの期間働きたいというご要望の方は民間のほうも選択肢に入っているのかなというふうには思いますね。

○東海林委員長　　という意見がありましたけれども。

○長澤委員　　小金井の長澤です。

小金井保育園でこの間、府中に行かれた先生いらっしゃると思うんですけど、府中採用でしたっけ、あのときは、かわりは臨職さんになったんですか。そのかわりは正規、任期付さんに……。

○小方委員　　そのかわりは任期付です。

○長澤委員　　任期付。それは、じゃあ、任期付で募集をかけたということなんですか。

○小方委員　　募集をかけて、4月は入らなかったけど、5月に入った。

○長澤委員　　5月に任期付で。やっぱりそこは、そういう正規の、あの人はもともと何の職の方だったんですか。

- 小方委員           もともと任期付です、育休の。
- 長澤委員           任期付の方が……。
- 小方委員           任期を全うしないで、行ってしまったという。
- 長澤委員           途中で府中の採用に行っちゃったんですね。だから、やっぱり臨職さんじゃないかもしれないんですけど、正規に行きたい方というのはいらっしゃるのかなとそのとき思ったんですけど、やっぱり近隣に採用があるというのは、少なからず影響はあるのかなと思ってらるんですけど。
- 鈴木委員           あるかもしれませんね。
- 東海林委員長      それで補足させていただくと、これ、正規職員って、今まで運協だと、任期がついてても正規とかという言い方もあったじゃないですか。だけど、この表は、あくまで任期なしの正規職員ということなんですか。小金井がなしってなってるのは……。
- 菅野委員           131ですか。
- 東海林委員長      はい。
- 菅野委員           先ほど申し上げたとおり、これは募集かけてるのはあくまで正規職員、任期付ではない、任期付は除いた形の正規職員ということですよ。
- 東海林委員長      今までの一応運協だと、任期付も任期のある正規職員という表現だったんですけど、だから、そこをちょっと明確にできればしていただきたいんですよね。正規職員って書いてあるんですけど、小金井市でなしってなってる、任期付の正規職員の採用は小金井はあるわけじゃないですか、ここ数年。だから、これ、なしってなってるのは、任期のない正規職員で、ありってなってるのも任期のない、要するに1年とか2年とかという短期じゃない正規の職員の方というところをちょっと明確に表現していただけるといいかなと思うんですけど。
- ほかに。
- これの説明って、今、ちょっと時間のほう……、あと何が。
- 鈴木委員           あとは日程ですかね。
- 東海林委員長      あと日程か。
- でも、今の流れで、紹介だけはしといたほうがいいと思うので、参考資料扱いで、去年の資料79、80、81がなくて、82ですか。今回3枚ですね。これが27年度につくった表で、資料80の表だとか、資料82の後ろのほうか。これは最新版というのをつくられる予定なんですか。
- 河野委員長        前、各園のほうで出していただいたのが、・・・できないんですけど。
- 東海林委員長      何か初耳というふうな雰囲気ですけど、聞いてたような気もするんですけど。別にとりあえず過去があるので、見どころとしては、特にくりのみ保育園のやつがわかりやすいんですけど、25と26の比較で、25と26で何が大きく違うかということ、定年で退職された方の補充をそれまでは正規の職員でやられてたのを、それをせずに、非常勤職員さん、これは非常勤、正職の補充に変えたという切れ目の年なんですね。その前後でどうなったかというのが26だ

○前島委員

と、これは、D、Eというのは、これ、何なんでしたっけ。

説明します。くりのみ保育園の前島です。

表を見ていただいて、25年と26年の比較をしているんですが、25年は正規、A、B、C、Dが正規の職員になります。26年はA、B、C、D、Eまで職員がいて、Dの職員が待機児解消の職員です。その26年度、待機児解消のために各園が、くりのみの保育園の場合は、0歳2名の待機児解消で、9名のところ2名ふえて11名の0歳児クラスになりました。その分のDの職員が1人ふえています。4名から5名。26年のそのDの待機児解消分の臨時職員がやったださる募集はかけたんですが、どの園もいなく、くりのみ保育園の場合は、1日ならという方とか、退職した元園長とかに来ていただいて、4人の方で1人分をお仕事をお願いしました。なので、この黒くなっているところが、I、II、III、IVってなっているので、毎日違う方が配置がありました。その次のEのところは、ここは産休に入られた職員の育休に入るまでの臨時職員が、ここも欠員でした。ここは、人がいなかった部分で、朝のパートさん、例えば26年度の月曜日のEを見ていただくと、他のクラスの職員が入って、朝のパートさんに時間延長をお願いして、ここの0歳の場合、食事介助のところが一番職員の配置が必要なので、朝のパートさんに時間を延ばしてもらって、またその朝のパートさんの時間も限られた時間ですので、そこで、またそこで、12時で区切れて、他のクラスの職員がかわりにまた入り、夕方のパートさんに時間の前に来ていただいてという形で、2カ月間、配置があって、臨時職員さんが1人決まったので、ここのEの部分は臨時職員の配置になりました。

あと、A、B、C、Dは、これ、4人と5人なんですけれども、一番下に書いてありますが、ほぼ行事や研修、出張、各種打ち合わせや美化デー、保育園の整備をしていく日だったり、月末事務や指定休などで、この25年度は3名の職員で9人のお子さんたちを保育して、26年度は11名のお子さんを4人の保育士で保育をしている状況でした。

それで、この人がいなかった原因というか、理由は、さっき東海林さんがお話ししてくださった退職した職員の分で、正規の補充がないので、非常勤の職員を2人配置したんですね、1人分を2人。かぶった時間で潤う形で配置をしたんですが、それによって、小金井市でずっと臨職さんをしてくださった方が、各園、非常勤の配置があったので、各園じゃない、4園、4人退職した者があったので、8人必要になるんですね。なので、8人の方が今まで臨職をしてくださっていたので、そこに非常勤で受けてくださって、来たんですが、その分で、今まで4人の臨職さんが来てくださったところから8人必要なので、ほかから、ほかの園でも臨職していた方が皆さん非常勤を受けてくださって、なったので、4人欠員というか、4人の方が臨時職員さんから非常勤に移られたんです。なので、どの園も臨時職員さんやったださる方が、新しく探さないといけない状況で、どの園も欠員の状況で、一番この26年度がちょっと厳しか

ったときの表です。

この時点では、現段階ではなかなか表にまでできず、口頭で父母会、役員会とか、運協の中でも話はしていたんですが、なかなかぱっと見た感じでどういう状況だったかというのを運協の中で整理をしてということで、次の年ですよ、表がやっとできたのは。

○東海林委員　　そうです。27年6月ってなってるので。

○前島委員　　なので、やっと1年たって表にできたという形です。

くりのみ保育園、今年度、28年度は9人の新入児の赤ちゃんのお子さんで、待機児解消の部分はそのまま定員で9人のままなので、3人の正規の職員と、さっきお話がありました産休代替の任期付職員なので、4人配置しているの、25年度と同じ配置になります、今、今年度は。

○東海林委員長　　そうなんですか。

○前島委員　　そうです。

○東海林委員長　　くりのみの東海林ですけど、28について、大体26と同じような雰囲気だというふうに前回伺ったような気がするんですけど。

○前島委員　　25です。

○東海林委員長　　25に近い。

○前島委員　　はい。

○東海林委員長　　その辺に温度差あるんですかね、各園で。

○前島委員　　園によって違うので。

○小方委員　　26ほどひどい年はなかったです。

○東海林委員長　　なるほど。やっぱりここが一番ちょっと、本当に細切れで、入れかわり立ちかわりというふうな表現がびったりだと思うんですけど、そういう感じだったんですけど。

○小方委員　　あとは、待機児解消分の職員も臨時職員なんだけど、その臨時職員も入らないまま、見切り発車みたいな感じで、もう事業が始まってしまったので、とにかく穴がたくさんあいて。

○東海林委員長　　そうすると、なお確認なんですけど、28については、今の5園で、くりのみ保育園は25ぐらいに大体戻せたかなという雰囲気なんです。ほかはどんな感じでしょうか。

○小方委員　　小金井の小方です。

小金井も26年は本当に涙が出そうな感じだったんですけど、さっきの133資料、あれでもわかるように、一応大きな穴はなく、朝夕の時間が足りない部分はあるんですけども、1人の人としてはそれぞれ配置されているというような状況で。

○東海林委員長　　そうでないって、たしか前回おっしゃってたと思うんですけど、どうなんですか。

○杉山委員　　わかたけ、杉山です。

わかたけでいうと、やっぱり見ていただくように、今年は欠けてるところが多いんですね。なので……。

○東海林委員　　これは133。

○杉山委員　　133の資料で見ていただくと、欠けてるところが多いので、やはり日々のやりくりの苦労はあります。うちも今0歳のほうに産休代替が入っていない状態がずっと続いているので、朝夕のパートさ

んに時間延長をお願いして、一番厳しい時間を何とかやりくりをしたり、各クラスからちょっと応援に入ってもらったりしています。幼児のほうのやっぱり欠けているところは、どうしても職員のやりくりしかなりませんので、そこにやりくりをしたり、また、ちょっと夕方のパートさんに早く来てもらったりというようなやりくりは今年は生まれています。

○東海林委員長 26ほどじゃないけれども、25まで戻っているということでもないぐらいで捉えて……。

○杉山委員 26がとにかくつらかったのはつらかったんですけど、大変つらかったのはくりのみと小金井保育園は26年大変だったんだと思うんです、わかたけと比べましても。ここまで大変ではなかったですけど、大変でしたけど、ここまで大変ではなかったもので、ただ、うちの28年は日々厳しいものはあります。

○福野委員 さくらの福野です。

この133の表を見ていただくとわかるんですけども、日中、さくら保育園は現在欠員というのは、週に対して7.5時間なので、月から金曜日まで5日間勤務のうち、週1日休むという方がいるので、7.5時間というふうになります。ほかは埋まっています。ただ、ここの朝夕のパートさん、特例パートさんが不足している状況があります。

○東海林委員長 そうすると、おおむね安心していいということ、よくわかんないけど。

○鈴木委員 いや、安心していただいて……。

○東海林委員長 でも、だから、その辺の何か印象とかとの何かやっぱりまだずれがあるのかなという気はするんですよね。

○細部委員 わかたけの細部ですけど、そもそもが退職されて欠になっているところを、任期なしで正規でずっと何年も埋めてないわけですよ。そこを何とか人を臨時だったり任期付で埋まってるから安心というのは、ちょっと違うと思っているんですね。今までのずっと蓄積された欠の部分が埋まってないというところが、余計さらに人がいなくなったりとか、お休みに入ってしまったとか、例えばふやさなきゃいけなくなったみたいな状況が起きたときに、ますますそれを埋められないという現象を生んでいるんじゃないかと思うんですよ。まして、この近隣の市でちゃんと正規で採用しているというのが何年かあると、当然もし保育士をちゃんとやりたいという方は、臨時のところとかではなくって、正規でちゃんと採用してくれるところにちゃんと働きたいって思う人ってそっちに流れていくのは当然だと思いますし、それから、公立だけに限らず、認可だったり、無認可でも、そういう正規の採用は、今もう保育園どんどんふえているので、かなりあると思うんですね。そういうところでも人が足りないというくらいのところ、短い時間だけ働きたい人を一生懸命探そうと思っても限界があるのがこういう状態で、今、26年度がひどかったから、それに比べればいいとはおっしゃってくださっているんですけど、やっぱり欠になっているところを埋めてることには、任期付だったり埋めてるのを、2年に一遍なり、いろいろ人探し

に苦勞しなきゃいけない状況が起きているのは間違いないので、やはりそこは何か早く、使う側としては、ましだから大丈夫ですというのではなくって、本来いるべき枠にはきちんとした人が埋まっているという状態に近づくほうがありがたいなというふうには思います。

○石倉委員

わかたけ、石倉です。

今の補足じゃないですけど、私もちょっとこの132の資料のって、やっぱり臨時のところって、多分今の募集の内容っていろいろあるんでしょうけど、欠員補充臨時職員とかなのかなと思ったんですけど、あくまでもこれ、年度途中の正規職員退職対応って書いてあるので、根本は、突発的に例えば何かの都合でやめられたときにとるものであって、本来やっぱり人が足りないからずっと年中かけてますというのって、もう何かしようがなくという言い方、ほかに何か、日本語うまくいかないな。でも、本来の趣旨とは多分ずれてる気がしていて、やっぱりこの予算計画、この予算表を見ると、臨時職員で何か賄うのって、もういたし方なく、もうどうしようもなく、回らないからまずはこのところではいけないので、本来の根本的解決じゃないよなというのは、やっぱり今、細部さんが言ったとおりかなとは思っています。

ただ、ちょっとあれですけど、という現実と、多分根本的な問題解決の話もありつつ、やっぱりくりのみさんと小金井さんのこの80と70、資料を拝見、かなりこれ、小金井さんの4でも結構怖いですよ。ほかから職員、ほかから来てもらいましたとか、結構切実な内容だなと思って、これよりましとは言いつつ、でも、多分すごい皆さんの努力におんぶにだっこでやっていただいている部分が物すごくあると思っていて、その解決が臨時職員をとるだけとは、根本的な解決にならないことだとは思いますが、と思いつつも、まずこういうことに陥らないような体制をやっぱりとることも大事かなと思っていて、このまた参考の話ですけど、やっぱり私もポスターの話とかもすごく気になっていて、何か雨ざらしになってぼろぼろになってますとか、ホームページ行かないとかってあるので、前回も何か言った気がするんですけど、根本的解決のことはちゃんと考えてやっていかなきゃいけないということもちゃんと考えつつ、こういった今すぐできることって何かしらやりたいな、やっていただきたいなというのはすごく思います。ポスター、きれいに常に張りかえるとかって、正直そんなに人手かからないですよ。お金もかからないですよ。あれが常に新しいものが張ってあるだけでも見る人の印象って変わると思っていて、やっぱりここに書いてあるように、ぼろぼろのを見たときに、誰がそれに応募しますかと思うんですよ。だったら、何か例えば難しい……、ほかの課とかで、例えば介護とかで回る方とかもいるじゃないですか、小金井市さんの中で、訪問とかされる方もいるから、その人にお問い合わせとかでも、何かそういうことを、リソースをうまく使っていただければできるかなと思っているので、何かだらだらしゃべってますけど、ちゃんと解決しなきゃいけないことをちゃんと考えつつ、すぐできる打ち

手はすぐ打って、短期的、長期的視野で物事を解決していくということは必要かなと、こういうのを見て、すごく切実に思いました。なので、できればポスターぐらいは張りかえていただきたいと思います。

○鈴木委員 ポスターの件含めて、先日開いた公立保育園の園長会の中でも、求人については、ちょっと力を入れて取り組もうよという話になりまして、うちの係長と、今日お休みいただけてますけど、海野園長で、細部を詰めて、職員課等にポスターであったり、さまざまな求人の方について、十分お話をさせていただくということで、今準備をしているということです。

○東海林委員長 そのあたりは、じゃあ、次回聞けるところがあったら聞かせてもらおうという形ではよろしいでしょうか。

済みません、もう1点、ちょっと先ほど、この132の資料で、28年7月1日という人数が出せるという話はいただいたんですけど、25の7月1日というのを出すことは難しいですか。

○鈴木委員 ちょっと調べてみます。

○東海林委員長 先ほど細部さんおっしゃってた内容なんていうのは、その比較で意外と出てくるかなという気がしてるんですけど。

済みません、ちょっと15分ほど押ししてしまいましたが、何がほかにありますでしょうか。

この資料130以降については、アップデートしていくという前提の資料なので、また次回以降も議題には必ず入ってくるものなのかなと思うので、今日はこころでよろしいでしょうか。

じゃあ、日程……。

○河野委員長 次回日程の確認ということで、進みたいと思います。

事務局から説明します。

○鈴木委員 じゃあ、次回の日程につきましては、9月の24……。

○東海林委員長 とうか、ごめんなさい、今回は、そうです、もうそれ決めたんですね。11月、次の次なんですけど、これが保護者の希望日がどうでしたか、何か2日ほど立てたやつはぱっと出るかな。

○石倉委員 たしか19か24日か。

○鈴木委員 26日とか。

○東海林委員長 26、26日は一応第1希望日でしたね、保護者側では。じゃあ、11月26日で。

○河野委員長 26日、3時半から5時半までということでよろしいでしょうか。

○東海林委員長 はい。

○河野委員長 場所については、また追ってご連絡させていただくということでお願いします。11月26日。

ちょっと時間オーバーしてしまいましたけれども、資料のほうは拡充しながら、また協議のほうを進めさせていただきたいと思います。

では、これを持ちまして、今日の運営協議会のほうを終了させていただきます。お疲れさまでした。

閉 会